

秘

電報

七一大二三〇發七、八〇九〇〇受付
二二二〇提出

昭和一九、七、一

旭部隊參謀長

通電先 次長支總(漢口南京)

旭參電第三五七號

七月十六日朝迄ニ於テ狀況

一 衡陽方面

衡陽攻略部隊ハ依然力攻中ニシテ巧妙ニ編成セテ敵大網就中短刀火器ニ制セラレ畫間ニ於テ戰果ノ擴張意ノ如クナラズ

各部隊ノ進出ハ目下ノ所

(一) 堤(佐ヲ攻梅)部隊ハ右左各第一線ト峽ニ相挂北側ノ敵最前線據點

ヲ奪取ス

(二) 右部隊ハ黑瀨聯隊ヲ以テ兩路口東側據點ヲ和爾聯隊ヲ以テ軍公路

東側ヲ敵最前線據點ヲ奪取シ志摩聯隊ノ第一線ハ公安局西門ノ

0315

手前約三百五〇米附近ニ進出ス

ニ江西方面

(1) 虔部隊ハ敵第二大軍主力ヲ撃滅セリ爾後主力ヲ以テ來陽附近ヲ
ヲ以テ(地名不明)附近ノ要線ヲ確保シ次期作戰ヲ準備

(2) 成部隊主力ハ昨十五日未明以來西渡(衡州西北十五軒)附近ニ於テ第
一〇四師ヲ包圍撃滅中

戶田部隊ハ昨十五日六鳳寨附近ニ於テ第一五七師一部ヲ撃破シ白
鶴鋪ニ向ヒ前進中ナリ

(3) 白鶴鋪正面ノ敵第五師ノ攻撃ハ逐次低調ナレリ

三江東方面

(1) 山部隊ハ茶陵南方掩蓋ヲ有ス堅固な陣地ヲ南面ニテ攻撃中

(2) 極部隊主力ハ醴陵東方地區ニ於テ第五八軍ノ主力ノ背後ヲ攻撃中

06. 13. 17
樞密 作戰緊急

電 報

昭和一九〇〇年七月二八

但 部隊 參謀 長

通電先 次長 支總 (漢口 南京) 波

但 參電 第三六九號 (電柱) (部 未 著 ナルモ 配布ス)

七月十七日 朝ニ於ケル 狀況

敵第九戰區軍ハ衡州確保ヲ爲シ全カヲ以テ又攻ニ轉シ彼我ノ決戦方ニ酣ナリ
トシテ敵及攻ノ重點ハ茶陵及醴陵方面ナルモ、我軍ガ既ニ交戦セル敵
兵カハ約四〇箇師ニシテ其ノ勢力ヲ概ハ半減セシメタルモノト判斷セラル

軍更ニ好機ヲ捉ヘテ醴陵茶陵及安仁附近ニ於ケル敵第九戰區軍ノ主
カヲ捕捉殲滅スベク大要左ノ如ク部署セリ

健部隊ヲシテ速カニ醴陵西南地區ニ進出、樞部隊ト協力シテ醴陵附近

敵(第五、第七二軍約七箇師)ヲ捕捉殲滅セシム

我部隊ハ有力者一部(歩兵約三大隊基幹)ヲシテ先ツ安仁東南地區ニ

0317

進出山部隊一部ヲ策應シ韶州附近ノ敵(第三軍三箇師)ヲ捕捉殲滅シ次ヲ茶陵方面ニ突進シ山部隊主カト策應シテ茶陵周邊ノ敵ヲ

(電註以下一部未著)

兩路向東北方約四〇〇米ヲ路附近ノ據點ヲ奪取セリ

(2) 廖田鋪附近ニ在ル廖部隊一部ヲ以テ衡州對岸飛行場及鐵道要部ヲ確保セシメ同地ヲ占領ス佐部隊一部ハ主カニ合セシム

三 江西方面

(1) 成部隊ハ大塘附近ニ於テ第五七師主カヲ攻撃中

(2) 叙島大隊ハ成部隊ノ進出ニ伴ヒ岩部隊主カニ復歸ス

(3) 蔣介石、第七九第六二兩軍ヲミテ日本軍ニ介意スルフトナリ衡州ニ突進

解圍スベク命シ督勵シアリ

四 江東方面

(1) 山部隊

(1) 主力ハ昨十六日拂曉以來茶陵西南高地既設陣地ニ據リ頑強ニ抵抗

エル敵ヲ攻撃中 醴陵茶陵ニ於テ攻撃態勢ニ移行シ及撃テル敵ヲ
隨時撃滅ス茶陵東方及北方ニ一部敵進出及撃ヲ企圖シアリ
尚醴陵附近敵一部該方面増援爲南下ノ兆アリ

(イ) 杉本聯隊ハ隨時及撃テル敵ヲ撃滅シツアリ

宮崎聯隊及杉本聯隊ハ茶陵西方ヲ急進中ニテ十六日機先ヲ制シ負

家橋(醴陵西南南ニハ軒)ニ到着セリ

(ウ) 極部隊主力ハ依然醴陵東方地區ニ於テ第五軍主力ヲ攻撃中

(終)

秘

電報

次長宛

但參電第三大九號(電註七月十日、配布欠分)

(第二軍第四軍六箇師)ヲ挾撃セシム

二衛州方面

(一)黒瀨聯隊ハ昨十六日夕龍撃戰隊ノ爆撃ニ膚接シテ

昭和一九三七

七八〇七四五號七八〇七四五提出

但部隊參謀長

陸軍

0320

樞秘 作戰緊急

昭和一九、七、二〇

電 報

七一八二一〇〇 著七三〇〇 四〇 受付

但部隊參謀長

通電先 次長支總(漢口南京)

但參電第四〇一號

敵情

(一) 衡陽攻略部隊ハ逐次敵據點ヲ攻略シ攻圍ヲ壓縮中ナルモ敵抵抗

尚依然頑張ニシテ敵第七九軍及第六二軍ハ解圍攻撃ヲ企圖シアリ

(二) 湘西地區敵第六戰區軍ハ逐次兵力ヲ増加シ遊撃發動シツアリテ湘鄉

永豐等重要地點ノ奪回ヲ企圖シアルモウカシ

第一〇軍、第五八師、第九師ハ湘鄉永豐間西側地區第七三師ハ橫市

(寧) 鄉西南方面四〇料附近第七三軍、第七七師ハ頑江益陽間地區第

一五師ハ潭市(湘) 鄉西二〇料(寧) 鄉附近ニ在リ

(三) 第九九軍(實力一箇師)ハ安化附近ニ位置シ寶慶附近ニ第六四軍及

0321

新編第三師一師等敗殘兵部隊集結シテモノ如シ

(4) 洞庭湖水位ノ増加ニ伴ヒ相陰西方地區一帯ノ陸上交通ハ且時著シク困難

トナレリ

ニ軍ハ衡陽攻撃ヲ部隊ヲ強化スル共ニ寧郷及益陽附近ノ敵ヲ撃滅シ爾後第六戰區軍ニ對シ作戰ヲ準備スベク大要左ノ如ク部署セリ

(1) 成部隊ハ白鶴鋪 衡州ノ間ニ侵入シ敵ヲ撃滅スル共ニ飯島大隊ト交代シ

白鶴鋪ヲ確保ス 尚一部ヲ以テ岩部隊側背ヲ直接掩護セシム

(2) 成部隊ハ廖田鋪ヲ確保シ部隊主カヲ以テ衡州對岸地區堤部隊ノ

一部ト交代セシム

(3) 開部隊

(1) 岩切支隊ヲ以テ寧郷附近次ヲ益陽附近ニ前進 敵第七師ヲ捕捉

殲滅シタル後主カヲ以テ益陽南側地區ニ一部ヲ以テ寧郷附近ニ集結シ

横市(寧郷西西南四〇料)方向ニ對シ爾後ノ作戰ヲ準備セシム

(2) 主力ハ長沙附近ニ於テ湘江ヲ渡河シ横市方面ニ對シ爾後ノ作戰ヲ準備

備セシム

(4) 森部隊ハ湘潭附近ニ於テ湘江ヲ渡河シ速カニ主力ヲ以テ湘郷附近進
進該地守備ノ廣部隊ノ一部ト交代シ 水(湘郷西四〇料)方向ニ對シ
攻勢ヲ準備セシム

(1) 湘江輸送ノ直接掩護ヲ左ノ如ク交代擔任セシム

(1) 易家灣(含云)下流開部隊

(1) 易家灣(含云)ノ間森部隊六台 (含云)上流廣部隊

三各部隊ノ狀況

(1) 衡陽方面

(1) 衡陽攻撃部隊ハ主トシテ夜間及襲撃戦隊ノ爆撃成果ヲ利用
シ銳意戦果ノ擴張ニ努力中ニシテ黑瀨聯隊ハ岳屏西南約四〇〇
米又路高地及岳屏南方約五〇三米高地和爾聯隊ハ兩路口北方
約二五〇米高地及同北方六〇〇米高地ヲ完全ニ奪取ス

又志摩部隊ハ本七日未明易願來(小西門西方部落)陣地突入

0323

ニ成功シ小西門西方約四〇〇米ノ線ニ進出ス

(四) 敵ハ我カ突撃支援爆撃直後ヨリ約一時間ニ亘リ手榴彈ヲ連續投擲スル等極々頑強ニ抵抗シアリ

(二) 江西方面

(イ) 成部隊ハ一部ヲ新橋附近ニ殘置シ主力ハ敵ヲ撃破シツツ白鶴鋪ニ向ヒ急進中ナリ

(四) 白鶴鋪附近ニ於テ依然輕戦ヲ交ハツアリ

(三) 江東方面

(イ) 庚部隊ノ根本(一語不明)部隊(歩兵三隊山砲二中队基幹)ハ十七日夕以來江渡河ニ縱隊トリ安仁東南地區ニ向ヒ急進中ニシテ小水鋪南方地區ニ尚一部ノ敵追尾北上シ來リ蠢動シツツアリ

(四) 山及樞部隊方面狀況明カナラズ

(ハ) 健部隊石川支隊(歩兵三隊基幹)ハ十七日十九時瀏陽河渡河戰出發白田鋪(長沙南南東一三料)―石嘴頭(株林頭東北三料)―醴陵

道ニ添テ地區ヲ醴陵ニ向ヒ急進中本十日朝其先頭ハ南山鋪(長沙南
南南東三五料)附近ニ木佐木支隊(歩兵三大隊基幹)ハ青山市(長沙
北北東三五料)一永安市(長沙東一〇料)一鎮頭市(南三料)道及西側
地區ヲ板杉鋪(醴陵西北一〇料)ニ向ヒ前進中

其他ノ主力ハ十日朝長沙附近ヲ出發シ石川支隊ノ進路ヲ前進ス

二)第五軍敗殘戰鬪人員左如シ

新編第十師將校以下約三七〇名新編第一師同約二二二名
第八三師同約五一〇名

四)後方ノ狀況

ハ湘潭飛行場ハ十六日幅約一〇〇米長サ一六〇〇米ヲ完成シ更ニ飛行機檢

體構築中

四)長沙一易俗河間自動車道ハ十七日開通シ自動車部隊ハ同夜ヨリ開

始セリ

五)舟艇民船ハ湘江減水シ龍隱橋(衡山西南一五料)ヨリ上流溯航ス

能トナリ軍需品ハ同地ヨリ駄馬輸送ヲ實施中

(終)

0326

極秘 作戰緊急

電報

七一九 二〇〇五 七二〇 二一五〇 提出

昭和一九、七、二一

旭部隊 參謀長

通電先 次長 總參謀長 (漢口南京)

旭參電第四七號

七月十九日朝ニ於テ狀況

一 衡州方面

(一) 衡州攻略部隊ハ攻中ニシテ岩部隊正面ノ敵ノ抵抗力ハ逐次撤退ノ微アリ

(二) 太田支隊左第一線部隊ハ去昨十日夜岳屏南側十字路南側閉

鎖曲線高地ヲ奪取セリ

(三) 和蘭部隊ハ昨十日夜大西門西南五〇〇米三叉路西側一角ノ據點ニ

突入セリ

(四) 志摩支隊左第一線部隊ハ小西門西側三〇〇米ノ線ニ進出セリ

(五) 針部隊ハ昨十日夜衡州西北端部落西北角突入セリ

(ホ) 第○軍長ハ廻雁寺(衡州南側)附近ニ在ルモク又一般ニ衡州南側堤部隊正面對シ敵ノ逆襲頻繁且猛烈ニシ堤部隊ハ其ノ都度敵ニ大打撃ヲ與ヘテ撃退シアリ

(2) 側背掩護ノ爲ニ塘附近ヲ占領シアリシ漳多部隊(歩兵四中队)ハ昨十日夕以來兩母山(寧化南四料)七里山(南四料)附近ヲ東進シ衡州ノ解圍攻撃ヲ企圖スル第一師ノ一部ヲ攻撃中

尚第一五師主力ハ黃沙嶺(衡州南二料)方向ニ進出スル企圖シアルモノナシ

(3) 岩部隊ハ爾後志摩支隊主力ノ西南方ニ進出シ來ル敵ヲ撃滅シツツ衡州西南地區ニ轉用中ニシテ該支隊ハ既ニ行動ヲ開始セリ

ニ江西方面

(イ) 成部隊

(イ) 成部隊ハ昨十日白鶴鋪ニ進出シ飯島大隊ト連絡ヲ完了セリ今朝依然輕戦ヲ交ヘアリ

(四) 金蘭寺ヲ確保シ黒須大隊ハ去ル十六日朝來敵第九師主力ノ攻撃ヲ受ケ激戰中

(2) 開拓隊

(1) 岩切支隊ハ昨十七日樟樹港(衡州南十五料)附近ニ進出セリ

(4) 部隊主力ハ七月十八日先頭梯團ヲ以テ栗橋(新橋南三九料)附近ニ進出セリ先遣兵一部ハ昨十八日長沙ニ到着明三日正午岳麓山附近確保ノ任ヲ繼承ス

(3) 森部隊ハ概ネ青山沖附近ニ進出シタル筈

三 江東方面

(1) 極部隊ハ去十九日朝趙家堰西方附近及其南方淶江ノ線ニ進出シ第九師及第一二師ヲ萍鄉方向ニ追殺中

戰鬪司令所ハ快活谷(湘東西約七料)附近ニ在リ

(2) 圓部隊ハ本早朝先遣兵石川支隊先頭ヲ以テ醴陵西方八料附近ヲ前進中

(3) 山部隊

(1) 主力ハ依然茶陵附近ニ於テ敵ト近ク對峙シ敵ノ動行偵知ニ努メツ
爾後ノ行動準備中

(4) 寧崎聯隊ハ本月十日時頃柘桑渡(收縣東北五料)ニ到着セリ

(5) 安仁方面ハ大ニ變化ナシ

(6) 師團ハ爾後鹿部隊ノ一部ト策應シ二十日頃安仁附近ノ敵ヲ捕捉殲
滅シタル後橋部隊ノ一部ヲ以テ安仁ヲ確保セシメ同部隊ノ主力ヲ茶
陵方向ニ突進セシメ師團主力ハ適時攻勢ヲ開始橋部隊主力
及鹿部隊ノ一部ト策應シ茶陵附近ノ敵ヲ捕捉殲滅スベク企圖
ニアリ

師團主力ノ攻勢發揮ハ彈藥補充ノ關係トニ主トシテ豫定
(7) 鹿部隊

海福部隊ハ概シテ安仁西南ニ追尾シアル筈

極秘 作戰緊急

電報

七二〇二〇五號 七三一四〇受付
七三一〇七〇〇提出

昭和一九三七・三

旭部隊參謀長

通電先 次長支總(漢口南京)

旭參電第四三七號(電註一部未着再電要求中)

七月二十日朝迄ニ於テ狀況

一 衡州及其周邊地區

ハ 衡陽守備ノ敵ハ蔣介石以下ノ嚴重ヲ督勵ト逐次前送シ來ル援軍ヲ

頼ミ大ニ損害ヲ受ケツツニ

(電註以下一通未着)

又本二十日十時頃實施セシ襲撃手戦隊ノ爆撃ニ依リ、箇所ニ大火災ヲ

生セシメリ

(3) 潭田部隊ハ昨十九日朝二塘附近ヨリ雨母山(二塘南四料)附近ニ進出セ

ル敵ヲ攻撃シ約一箇營ヲ殲滅セリ

0331

(1) 志摩部隊（大隊ヲ設置シ針部隊長ノ指揮下ニ入ラシム）ハ二塘附近ニ
轉進シ澤多部隊其他ハ星野部隊（師團豫備）ニ於テ併セ指揮シ
本二十日來羽大江口附近ニ進出セル敵ヲ攻撃中

(2) 昨夕一部ノ敵ハ堤部隊ノ後方ニ進出シ来リ同部隊ハ豫備隊ヲ以テ
之ヲ攻撃中

二江東方面

(1) 鹿部隊

(1) 伊藤部隊ハ先遣隊ヲ以テ本二十日朝銚子對岸ニ到着セリ

(2) 海福部隊

敵機ノ妨害ニ依リ東江ノ渡河遲延シ昨十九日夕馬王杓（小水浦東
七料）東北ニ現出セル敵約一箇團ヲ撃滅シツ馬王杓東方六料ニ
進出セリ

(3) 大坪部隊ノ一部ハ十七日夕來馬王杓附近ニ攻撃シ來ル約一箇
團ノ敵ヲ攻撃シ目下南方ニ追撃中

山部隊

(1) 主力ハ茶陵附近ニ進出シ隨時ノ激撃態勢ヲ救正セ敵トハ對峙シテ爾後ノ攻勢準備中ナリ

當面ノ敵第二〇軍終日射撃ヲ及復シ或ハ小部隊ヲ以テ偵察ヲ行フ等依然及攻ノ機ヲ窺ヒツツアルモノナリ

(2) 宮崎及杉本部隊ハ本日朝茶陵ニ到着主力ニ合セリ

(3) 安仁收縣ハ依然大ニ變化ナシ

極部隊

(1) 昨日ノ態勢ト大ニ變化ナシ

(2) 敵第五八軍ハ萍鄉湘東麻山(萍鄉西南一〇料)間ノ地區ニ在リテ態勢ヲ救正ヘ及撃手ヲ企圖シアルモノナリ

茶陵方向ニ轉進ヲ命ゼラレタル第九師及第一六二師ハ尚萍鄉附近ニ在リ

(4) 健部隊ハ豫定ノ如ク醴陵ニ向ヒ前進中ナリ

三江西方面

(一) 成部隊ハ本土日朝白鶴鋪敵兵大隊ト交代ヲ完了セリ

(二) 約箇師ノ敵ハ數日來連續金華寺ニ及野寺ヲ來リ黑須大隊ハ激戰中

(三) 第七軍第九師ハ第一〇軍第九師ト金華寺附近ノ防務ヲ交代シ目下西渡(新橋北約ハ料)附近ニ又第九四師ハ新橋附近ニ在リ

第九四師ハ爾後望城樹(衡州北端)鉅錢渡(西南四料)附近ニ進

出スベク企圖スルモノヤシ

四 衡州方面ニ前進ノ自動車部隊ハ易俗河ニ於ケル渡航遲延シ夜迄ニ渡

航セル第一梯團(彈藥四〇料積載)ハ同夜ヨリ前進ヲ開始シ二十日朝長

嶺鋪(易俗河東南南ニ。料)ニ達ス易俗河一衡山一衡州道ノ補修ハ廣

部隊之ヲ擔任シ易俗河一衡山道ハ二十四日迄ニ完成ノ豫定

五 衡州第一期作戰(自六月三日至七月四日)一覽表主要戰果

(一) 敵ニ與ヘタル損害

遺棄死體

一〇二六〇

俘虜

一三七五

0334

撃墜機数	140	八?	野山砲	三
連射砲自動砲機關砲	三		迫撃砲	一五
重機	四六		輕機	一〇九
小銃	一三九〇		土下器具	一三九四六〇二
資材	一五三三一			
機關車	一五	(修理使用可能者僅少)		
客貨車	一二六			
我が損害				
戦死	八三四	(内將校四)	飛行機ニ依ルモノ	二六五
戦傷	二四八八	(内將校六六)	飛行機ニ依ルモノ	三一八
戦死馬	四九七	(内飛行機ニ依ルモノ)		二五七
戦傷馬	一六三	(内飛行機ニ依ルモノ)		七二

0335

樞
秘

電報

七
二二
三三
〇一
八七
〇〇
〇〇
著 兗
七
二二
四三
〇〇
九〇
〇〇
提出

昭和一九二四

次長宛

旭部隊參謀長

但參電第四三七號（電註七月二十二日配布未署分）

尚抵抗ヲ續ケアリ

② 衡州攻略部隊ハ敵ニ彈藥ヲ損耗サセル目的ヲ以テ陽ニ夜襲ヲ装ヒツツ大田支隊ノ正面ニ陽動大ナル効果ヲ收メタリ

陸軍

極秘 作戰緊急

電報

七
二二
三二
〇〇
七一
一一
〇三
著花
七
二二
五三
〇〇
〇〇
二一
提出受付

昭和一九二五

次長宛

旭部隊參謀長

旭參電第四四號(電註一部未着再電要求中止乞取教不配布)

七月二十日朝二於乞狀況

一、要旨

衡陽攻略部隊、集部隊、緊密に協力、下二敵、抵抗巢ヲ肅清

ミ
ア
リ
シ
ガ

電註以下一部未著

12

0338

極秘作戦緊急

電報

昭和一九三七、七、三八

七二二〇二二〇〇七三七
二二〇四五五
提出

他部隊參謀長

通電先 次長波總參謀長(漢口南京)

但參電第四四號(電註一部未着再電要求中ナルモ配布ス)

(電註以下一通未着)

約三箇師ノ敵ヲ増派シアリテ之ガ攻略ニ尚ヨリ要スル見込ナリ

衡州城内敵ニ策應スルガ如ク敵第七九軍及第六二軍ハ夫々其ノ一部ヲ以テ

既ニ衡州西北方及西南方地區ニ又一部ノ敵ハ再ニ漢漢市(衡州東一〇料)附

近ニ侵入シヤリ

二軍、衡州攻略ヲ容易ナラシムルト共ニ求援増集スル敵ヲ素メラ撃滅スヘク大要

左ノ如ク部署セリ

一、衡州攻略部隊ヲ以テ引續キ敵ニ鏖カヲ加ヘツ此ノ間攻撃準備ノ向ヒヨ

圖リ次デ衡州城攻略ヲ完遂セム

0339

(1) 廣部隊、旅團長ノ指揮スル歩兵三大隊ヲシテ二七日頃迄ニ衡州ニ到リ
岩部隊長ノ指揮下ニ入ラシム

(2) 成部隊ヲシテ前任務ヲ續行來援増集スル敵ヲ索メテ攻撃セシム

(4) 軍八月一日頃南岳市(自今陽山ト稱ス)附近ニ推進ス
三各部隊ノ狀況

(1) 岩部隊

(1) 志摩支隊ハ本二日朝來雨母山附近ノ約一箇團ノ敵ヲ攻撃中ニシ

テ敵ヲ撃滅後一部ヲ二塘及鐵絲塘(雨母山南側)附近ニ殘置シ

側背ヲ援護セシメ主力ハ衡州西南方ニ到リ原所屬ニ復歸ス

(2) 飯島大隊ト交代完了シ白鶴舖ヨリ及轉中ニシテ途中敵ヲ掃蕩シ

ツ主力ニ合フ

(3) 賈里渡(衡州西六料)銅錢渡(北二料)附近ニ一部ノ敵進出シアル

モ積極的企圖ナシ

(2) 堤部隊

(1) 松山支隊、伊藤部隊ト交代ヲ完了シ主力ニ合一本三、四朝來大眼
(衡州西南三料) 及茶園嶺(衡州南六料)ニ潛入セル約一箇團ノ敵ヲ
攻撃中ナリ

(2) 泉溪市附近ニ再ニ一部ノ敵潛入シ陣地ヲ構築中ナリ

(3) 成部隊定部隊ヲ以テ白鶴鋪附近ヲ確保セシメ主力ヲ以テ敵ノ第六軍
ヲ索テ攻撃中ナリ

122 後方状況

(1) 衡州方面補給ノ爲メ龍陰橋(衡州西南方一五料)及衡山附近ニ到着
セシ民船ノ積載品ヲ駄馬輜重五中队ヲ以テ逐次衡州ニ輸送中

(2) 易俗河一衡州道補修ハ二十日夜迄鐵橋(康草墟北方二四料)迄完成ス
同夜(一語不明)第一梯團ヲ中路鋪南方地區ニ推進ス

(終)

柳松至急

電報

次長宛

他參電第四六四號(電註七月二十日配布缺分)

七月二十日朝迄ニ於テ狀況

一要旨

衡州攻略部隊ハ軍部隊ト緊密ニ協力シ下逐次敵抵抗ヲ果テ破
碎シ其ノ第一線陣地ヲ奪取セリ
敵抵抗ハ稍々低下模範ナシモ

昭和一九八一

入三二一五ノ大衆
入一三〇番
二一四〇の要付
二一三〇提出

他部隊參謀長

陸軍

概 秘

電 報

七三二一七〇〇發
七三三〇六一六著
七三三二一四〇受付
七三三二一四一四五提出

昭和一九三七五

次 長 宛

旭 部 隊 參 謀 長

旭參電第四七七號(電註一部未着再電要求中モ配布ス)

七月二十二日朝迄ニ於テ状況

一 衡州及其周邊地區

(一) 衡州攻勢部隊

(1) 太田支隊一部ヲ當面ノ敵ニ對セテ主カヲ以テ江岸ニ沿ッテ太子碼頭
方向ニ進出該方面ヨリ戰果ノ擴張ヲ企圖シ依然攻撃中ナリ

(2) 松山支隊(新ニ岩部隊ノ歩兵一大隊山砲二中隊ヲ屬ス)ハ大眼(衡州南

三料)南方ニ進出ル約一箇團ノ敵ヲ大眼附近ヨリ西南ヲ三料胡家冲

附近ニ繞回シ東北面ニ攻撃中ナリ

(3) 成部隊ハ二十日早朝六塘附近ヨリ行動ヲ開始シ一部ヲ以テ七里山(二塘

南八料)西麓主カヲ以テ二塘七里山ヲ向テ前進シ志摩支隊ニ策應該

0343

方面ノ敵ヲ攻撃中

二江東方面

(一) 萍鄉 黃土嶺附近

(一) 敵第五軍(五箇師實力ニ箇師)ハ湘東以南萍江東岸高地ヲ占領シツ態勢ヲ整ヘアリシガ第九師(第一六二師ヲ含ム)ヲ以テ醴陵―萍鄉道ニ沿フ地區ヨリ主力ヲ以テ醴陵東南地區ヨリ又黃土嶺附近ニ在リシ第七二軍ハ醴陵―黃土嶺道及其西方地區ヨリ再度醴陵ノ奪回ヲ企圖シアルモノ如シ

(二) 樞部隊ハ湘東以南萍江西岸ノ線ニ進出數日來攻撃ヲ準備中ニシテ健部隊ノ主力ハ概ネ醴陵附近ニ進出セリ

(三) 軍ハ萍鄉附近ノ敵ヲ殲滅シテ續キ蓮花茶陵方面ニ突進シ敵第九戰區軍ノ主力ヲ捕捉殲滅ノタメ健部隊ヲ以テ醴陵―萍鄉―蓮花道(含ム)以北以東ノ地區ヲ樞部隊ヲ以テ同道以南以西ノ地區ヲ前進シテ十六日頃概ネ湘東南北ノ線ヨリ攻撃ヲ開始相策應シテ

先ヅ萍郷附近

(電註以下五通未著)

拒止スル準備中、處優勢を我が軍ニ依リ一撃ニ突破紛碎セラルルヤ一時
崩壊四散ノ状態ニ陥リクルモ我が軍が衡州攻略ニ時ヲ要スルヤ逐次態勢
ヲ挽回シ平素ノ計畫ニ基キ全力豫定ヲ以テ及攻ニ轉ジ我ヲ撃攘セントシ
必死ノ努力ヲ傾倒シツツアリ

四軍ハ進攻開始以來行程三百數十料ニ及ビ水路ニ依リ後方ヲ遮斷セラレ
ニ箇師團強ヲ投入シテ自動車道ヲ強行開拓シ以テ決戦場裡ニ於テ
戦力強化ニ努メツアルモ自動車道ヲ衡州迄開通シ得ルハ亦
月未頃ト判斷セシ又道路構築ニ任ジアリシ兵力モ逐次決戦場裡ニ
投入セラレ月末前後ヨリ我が戦力ノ盡ク發揮シ得ルニ態勢ニ推移スルモ
ト豫想セラレ

(電註ニ以下一部未著)

0345

極秘

電報

七二二一七八〇發七二二〇一五五提出

昭和一九三七

他部隊參謀長

通電先 次長支總(漢口南京)

他參電第四七七號(電註七月二十五日配布未着ノ分)

(電註一未着ノ分)

敵ヲ擊滅シタル後夫々連花東南及西南地區ニ向テ突進セシム

特ニ健部隊ノ一部ヲ以テ黃土嶺附近ヲ經テ茶陵東北地區ニ突進シ主力ヲ作

戦ヲ容易ナラシム

(3) 茶陵附近

(1) 敵第二〇軍依然茶陵東方及南方地區ニ在リテ陣地ヲ増強中又第三

七軍主力ハ尚係安仁北方地區ニ在ルモクヤシ

(4) 山部隊主力ハ本二十五日攻勢ヲ開始シ先ツ茶陵東方ノ敵ヲ擊滅シ次第

二十四頃ヨリ橋本部隊及海橋部隊ト相策應シテ茶陵南方ノ敵ヲ

0346

捕獲殲滅ス。橋本部隊ハ極力安仁東北方敵ヲ攻撃シテ界首坪(安仁
南南東ニ料)方向ニ海福部隊ハ道路月嶺下(茶陵南一四料)方向ニ突
進ス

三軍作戦ノ推移ニ關スル判斷

一第ハ戰區軍ハ我が進行ニ對シ長沙附近ノ陣地施設ヲ一部ノ撲トシテ側撃
及撃ヲ以テ

(電註ニ未著ノ分)

軍一部ヲ以テ衡陽ノ攻略ヲ圖ルト共ニ主力ヲ以テ及撃ニ出デザンル敵軍
主力ヲ粉碎シテ今後ニ於ケル長遠ナル作戰ノ遂行ヲ容易ナシメントス
而シテ我が態勢ハ月未頃ヨリ来月上旬ニ亘リ著シク強化セラルベシ。衡陽
攻略モ之ニ相關聯シ完遂シ得ルモノト豫想セラル

極秘

電報

昭和一九、七、三八

七三五〇の二〇の宛 七三七二三一〇受付
七七〇八四〇著 三八一四五〇提出

但部隊參謀長

通電先 次長總參謀長（漢口南京）

參考致

但參電第五二號

第一 衡州附近次期作戰準備部署

一 衡州周邊地區之兵團ニ直接シ衡州子備部隊ニ策應企圖シ敵兵力

ハ約六箇師ニシテ八月十日頃ニ更ニ數箇師ヲ増加スモト豫想セラル

二 軍ハ衡陽攻略部隊ノ創出ヲ安全ナシメ其ノ攻略ヲ容易ナラシムト共ニ來

援増集セシ敵ニ對シ爾後ノ作戰準備ノ大要左ノ如ク部署セリ

（一）廣部隊

松田部隊長ノ指揮ニ入ラズバ旅團長ノ指揮スル歩兵約三大隊ハ全カノ

集結ヲ待ツ同部隊主力ハ七月十一日迄ニ銅鐵渡附近ニ集結シ作戰ニ

0348

參與シ得ル如ク準備セシム

(四) 山部隊

(イ) 成ルベク速クニ寧郷及益陽縣附近ノ敵ヲ撃滅シ朱良橋毛角口占領
部隊及瀧部隊ハ各々速クニ主力ヲ合セシム

(ロ) 獨立歩兵三大隊ヲ速クニ衡山方向廣部隊長ノ指揮下ニ入ラシム

(ハ) 部隊主力ハ橫市方向ニ對シテ作戰準備ヲ中止セシム

(一) 脱

廣森部隊ヲシテ穀水方向ニ對シテ作戰準備ヲ中止シ成ルベク速クニ湘郷

附近廣部隊ノ一部ヲ推進スル共ニ有力ナル一部ヲ以テ湘潭及易俗河

附近ヲ確保セシム

(四) 藤部隊

(イ) 一部(聯隊長ノ指揮スル歩兵約三大隊)ヲ以テ現在地ヲ確保セシメ主力

ヲ以テ速クニ東陽渡(衡州南南東八村)方向ニ前進敵第六師主

力ヲ撃滅シ衡州攻略部隊ノ側背ヲ安全ナラシムト共ニ爾後ノ作戰ヲ

0349

準備セシム

(四)海福部隊ハ茶陵南方ノ敵ヲ撃滅後又來陽附近ノ岳嶺部隊ヲ山部
隊ノ主力進出ニ伴ヒ夫々主力方面ノ作戰ニ參與セシム

(五)山部隊ヲ茶陵南方ノ敵ヲ捕捉殲滅後各々一部ヲ以テ三部隊ノ來
者迄ニ茶陵攸縣安仁ヲ確保セシメ主力ヲ以テ來陽附近ニ前進シ衡州
附近ノ會戰ニ參與シ得ル如ク準備セシム

(六)臣部隊ヲ形德鎮頭市又ハ永安市附近ニ配置シ周邊綏敵ヲ掃蕩
セシム

第二各部隊ノ狀況

一衡州方面

(一)針部隊ハ飯島大隊ヲ併セ指揮シ至日正午頃望城坳(衡州北方
三料)西北方地區ニ進出セ約一箇團ノ敵(第一九四師ナリ)ヲ攻撃中

(二)鹿部隊ハ伊藤部隊ハ昨日来轡軍隊ノ一部ヲ併セ指揮シ泉溪市
附近ヨリ渡河シ來ヒ敵ヲ來江ニ壓迫シ之ヲ撃退中

0350

(3) 成部隊

(1) 小柴部隊ハ二十日夕迄ニ七里山(二塘南ハ料)附近ノ敵約一箇團ニ
大攻撃ヲ與ヘ一部ヲ以テ七里山ヲ確保セシメ主力ハ其ノ西側地區ニ集
結セリ

(2) 金吉部隊(輜重隊)ハ二十日以來新橋(衡州西方十七料)附近ニ進出
セ約一〇〇〇名ノ敵ヲ攻撃中ナリ

ニ野江東方面

(1) 山部隊主力ハ二十日早朝豫定ノ如ク茶陵東方ノ敵(第五〇師)ニ對
シ攻勢ヲ開始セルモ該敵主力ハ二十三日朝果後退セルヲ以テ赤水南岸
ノ敵(第三〇軍主體)ヲ茶陵南方地區ニ捕捉攻撃截スルヲ攻撃中ナリ
敵一般ニ消極化シアリ

(2) 鹿部隊ノ海福部隊ハ所在ノ敵ヲ撃破シツニ二十日夕柴雲山(安仁
東南方ニ料)附近ニ進出引續キ前進中ナリ

(3) (地名不明)南方來江兩岸地區ニ第六軍(三箇師)暫編第五

四師第九軍(一箇師)暫編第三軍(三箇師)散在シアルヲ略々確
實ニシテ其ノ戦力ハ何モ二分以下ニ低下シテ指揮ノ統一ヲ缺キアリ

三江西方面

(1) 松井部隊主力ハ概々長沙ニ到着セリ又岩切支隊ハ喬口附近ニ於テ湘江
渡河中ニシテ二十五日頃迄ニ渡河完了ノ豫定ナリ

(2) 森部隊ハ昨ニ三日以來長沙南方約八料附近ニ於テ湘江ヲ渡河中

四後方

(1) 易俗河―衡山道ハ二十三日夜迄ニ自動車ヲ運行シ得ル程度ニ補修ヲ
概成シ自動車隊先頭ハ二十四日未明衡山ニ到着ス

(2) 衡山ニ待機中ノ駄馬輜重三中隊ハ彈藥約二六挺ヲ衡山ヨリ衡州ニ
輸送ヲ開始セリ

(3) 彈藥一〇挺ヲ衡州ニ前送中ノ架橋材料中隊(駄馬)ハ二十日
ヨリ三板橋(衡州北方二料)附近ニ於テ一部ノ敵ト交戦シテ之ヲ撃退シ
テ目的地ニ到着セリ

極秘至急

電報

昭和一九三七

七二五八二〇宛
七二五五〇番
七三六二一〇受付
七二五五〇番提出

旭部隊參謀長

通電先次長次官總軍(漢口)

旭參電第五三三號

作戰開始より七月二十日(衡陽進攻ノ末期)迄ニ於テ人馬損害ノ現況左ノ如シ
一人員(部隊名戦死戦傷戦病計百分率ノ順序トシ括弧内將校百分率
(参加人員ニ對スルモノ)

軍直部隊ノ調査中

部隊名	戦死	戦傷	戦病	計	百分率
第三師團	四六三 (三七)	一一九二 (六七)	一五九 (九)	三二一四 (一一二)	一五・九
第十三師團	四七二 (三七)	一〇五四 (五六)	九六三 (三三)	二四八九 (一一〇)	一二・二
第二十七師團	一一三 (九)	二八七 (一三)	五六四 (九)	九七三 (三七)	五・三
第三十四師團	五八九 (三九)	二八五 (五三)	九八九 (一〇)	二七六三 (一〇二)	二三・二

右損耗中敵機ニ依テノ概算一〇%ヲ戰死者ハ概本豫想通り戰病ハ豫想ノ概本四カ一但シ酷暑ノ激化ト次期作戰準備間ニ多發スルヲ考慮セラル 人員ノ戰傷ハ八月中旬迄約五萬下旬迄トセバ約六萬輸送間ノ事故(一〇・二%)ヲ控除スルモ四一五萬ニシテ恢復良況順調ナリ 二馬匹(損耗ノ入廠計百分率ノ順序トス)				第四十師團 二八八 (一八八) 八二四 (三二八) 五一 (〇) 一六二 (五八) 一一・五			
第五十八師團 三四〇 (三三三) 七〇五 (四三三) 七二 (七) 一七六 (八三) 一四・七				第六十八師團 七五二 (三三三) 一四一 (八六) 八七 (二〇) 三〇四 (三三) 二五・九			
第十六師團 八三三 (六三三) 一六六 (九四) 九一 (九) 三四一 (二六) 一八・六				合計 三八六 (二六四) 八三一 (四四九) 七〇九 (八五) 一九二 (七九) 一五・一			
第十三師團 五八四 (五四八) 二六一 (四〇八) 八四五 (五五二) 一五・五				合計 五八四 (五四八) 二六一 (四〇八) 八四五 (五五二) 一五・五			
部隊名 損耗 入廠 計 百分率				(電註) 數合ハザルモ電文ニ誤リナシ			

0355

第二十七師團	一九一	四四三	六三四	一〇二
第三十四師團	三三五	一五〇	四八五	二三二
第四十師團	一六四	六八	二三二	一〇九
第五十八師團	三三七	一二〇	四五七	一五、一
第六十四師團	一二	一五	二七	一、八
第六十八師團	六一三	〇	六一三	二三、二
第七十六師團	八九八	九〇	九八八	二二、二
軍直	三四四四	九一一	四三五五	二一、一
合計	七一二六	二〇六二	九一八八	一七、二

損耗馬豫想超過を主因に作戦開始前数高補損参加馬数増
 加為獲得を素質不良馬大陸馬ノ損耗ヲ第一トス
 敵機ニ依ル損害損耗馬ノ三八%馬匹補充八月下旬迄約六〇〇ナリ
 輸送間ノ損耗ヲ考慮シ配當緩急ニ依リ第二期作戦ニ遺憾ナカラ
 シム

0356

[illegible]

0357

極秘 作戰緊急

電 報

昭和一九三七

七五八一〇〇發 七五二〇一四〇受付
二六〇一〇〇番 一〇一〇提出

但部隊參謀長

通電先 次長支總(漢口南京)

但參電第五三四號

一 衡州方面

(1) 衡州攻略部隊ハ著々攻勢準備ヲ促進中ニシテ三十日前後頃攻勢力ヲ再
開シ得ルモト判斷セラル

(2) 針部隊大隊長ノ指揮スル二箇中隊及飯島大隊ヲ以テ今朝ヨリ望城
坳(衡州三料)北方四料附近ノ敵ヲ攻撃中ニシテ逐次西方ニ壓迫撃滅
中 敵ハ第一〇軍第六三師主力ナルモシ如シ

(3) 鹿部隊 伊藤部隊ハ依然貧乏團(泉溪市西南三料)以南ノ來江
南岸地區ニ渡河進出セル敵ヲ來江ニ壓迫中ニシテ廖田鋪ヨリ北上セル鹿部
隊一部(大隊長ノ指揮スル二箇中隊)ハ既ニ戰鬥ニ加入シアリ

(4) 衡州西方及西南方地區ノ敵ハ更ニ第七九軍ヲ以テ西方ヨリ第六二軍ヲ以テ西南方地區ヨリ我ガ衡州攻略部隊ヲ挾撃セシト企圖シアルモノ如シ
ニ江東方面

(1) 鹿部隊ノ大坪部隊(二箇大隊)ヲ以テ概ネ現在ノ線ヲ確保セシメ主力ヲ以テ東陽渡(衡州南ノ料)ニ向ヒ北進中ニシテ本二十五日未明廖田鋪附近ニ進出セリ山部隊ニ策應スル海福部隊ハ昨二十四日正午頃月嶺下(茶陵南一大料)附近ニ進出シ南走中ノ敵縱隊(新編第二師)ヲ捕捉攻撃中

(2) 山部隊

(1) 主力ヲ以テ二十三朝來茶陵東方茶水及洑水間袋狀地帯ノ敵ヲ攻撃引續キ洑水南岸ノ敵ヲ茶陵西南方地區ニ捕捉殲滅中

(4) 欺騙ノ目的ヲ以テ茶陵東北ニ向ヒ行動スル神部隊ハ二十五日未明茶陵東北ニ料附近ニテ茶水ヲ渡河シ廣正面ニ亘ル高地ヲ占領セル敵ヲ撃破シ翎坊(茶陵東南方ノ料)附近ニ向ヒ前進中ナリ

い橋本部隊、二十一日一時放棄し、安仁城ヲ再攻シ之ヲ奪回セリ

(3) 健部隊

(1) 昨二十四日夕迄ニ城南壩醴陵附近ニ進出ヲ完了セリ

二十五日醴陵ヲ出發し、栗市附近ヲ經テ蘆溪市(萍鄉東方約二〇料)附近ニ進出敵ノ退路ヲ遮斷セシガ爲メニ攻撃ヲセルモノナリ

部隊ハ依然昨日ノ態勢ニ在リテ攻撃準備中ニシテ建部隊ノ左翼方面ヘ進出ヲ待テツアリ

三 江東方面

廣部隊ノ戰闘司令所ハ昨二十四日夜易俗河附近ヲ渡河南進セリ

殘置部隊ハ岩部隊長ノ指揮下ニシテラシムベク野溝支隊ハ本二十五日早朝衡山附近ヲ出發衡陽ニ向ヒ急進セリ

四 敵最近航空部隊及地上部隊ノ一部ヲ以テ我カ通信補給ノ遮斷ヲ企圖シアリ 就中敵機跳躍極メテ頻繁ニシテ矢止線路上ノ後方部隊

就中旅團司令部及自動車部隊ニ對シ徹底的銃爆撃ヲ實施シアリ

0360

敵機ハ黎明ヨリ薄暮ニ到ル迄終始頻繁ニ攻撃シアリテ兵站線路上
部隊及船舶部隊行動ハ夜間ノミニ限セラレアリテ部隊ハ黎明前迄
ニ兵站線路外ニ疎開シ損害ヲ減少ニ努メアリ
右ニ併行シ敵ハ主トシテ夜間兵站線路上ノ要地（新市長沙湘潭等）
ヲ爆撃焼却シ我カ利用ヲ不可能ナラシメント企圖シアリ

(終)

0361